

楽しく続けるために

知識より体験

英語学習には、スポーツや音楽演奏と同様に、一定期間の練習が不可欠です。ルールと戦略を教室で学ぶだけで野球が上達することは考えられないと同様に、文法と語彙を覚えるだけでは外国語は習得できません。まずは、やさしい絵本で10万語を読み、和訳しない読み方を体得したら、100万語を目標として、英語を使う体験を積みましょう。

英語多読を趣味として

楽しく続けるためには、英語多読を趣味とするのが一番です。学習法としてお子さんに押し付けるのではなく、趣味として始めましょう。まずは焦らず、気長に構えることです。「3か月後のTOEICで得点を50点上げたい」から読むのではなく、「5年後にはHarry Potterを読み始めたい」という方が、イメージに合います。多読の楽しみは、徐々に長い英文を読むようになってしまう自らの変化と、お気に入りの作家や未知の作品の発掘です。